

解説！大空凧

※大空凧プロジェクトとは？

高須地区で行われていたという大凧の存在を知った芸術家の心に火がつき始まったプロジェクト。高須のみなさんに協力いただきながら、高須ハウスの夢として、大凧の復活を目指すプロジェクトです。

目指すは2022年1月23日(日)の凧あげ！

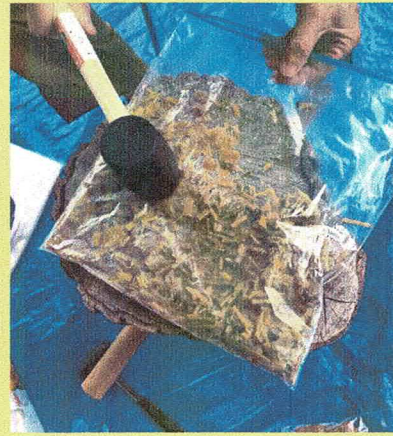
前回に続き、かわら版2021では、高須の大凧をめぐるわたしたちの活動をお届けしていきます！

TAKASU HOUSE

藁紙

大凧の顔となる紙は、高須の藁から作る藁紙を使用します。9月に稲刈りしたての高須の田んぼから、材料となる藁をいただいて、藝大でひたすら細かくしてたたきました。

藁紙制作 宮寺雷太（版画家）



骨組み

長年高須小学校体育館で眠っていた大凧を東京藝術大学取手校地へ移動！大凧設計に向けた貴重な参考資料です。骨組みにはこれまで使用していた竹を7割ほど残し、折れている箇所などは東京藝術大学取手校地内で昨年中に刈って乾燥させた竹を使って補強すべく、骨組みの分析真っ最中です。

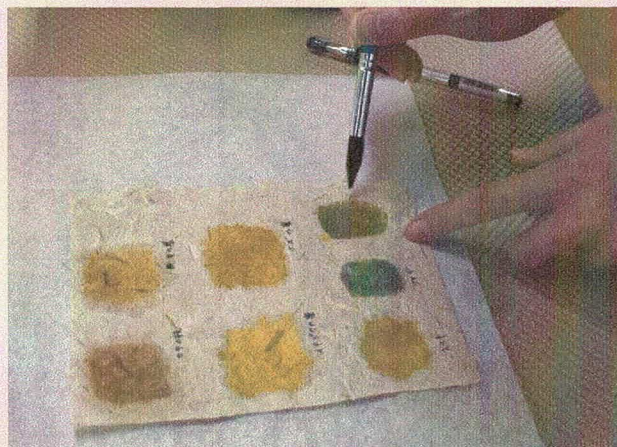
凧制作 寺田健太郎（デザイナー）、寺田敏明、中山典夫



顔料

藁紙には高須と東京藝術大学取手校地の植物を使って顔料を作り、色を塗ります。特に柊木南天、イチイ、柿、いちじく、梅、桜は高須のみなさんからご提供いただきました！材料を揃え、顔料作りを行っています。

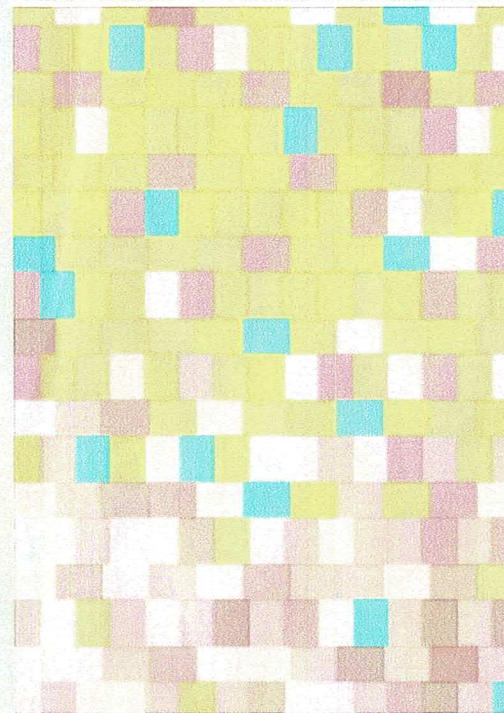
顔料制作 岡博美（染織家・藍染師）



デザイン

大凧のデザインが決定しました！植物の優しい色で着色された300枚近くの大凧紙を使用して作られます。大空に揚げた時にどんな景色になるのか、楽しみにしていてくださいね！

デザイン画 岡博美（染織家・藍染師）



高須で揚げたい！！ 大空凧への道② (全4回)

題字 倉持美芽

2022年1月23日に高須で大凧を揚げる「大空凧プロジェクト 高須で空あそび」。

藁、植物も提供してくださった高須の皆様 ありがとうございます！

こんにちは、取手アートプロジェクト(TAP)の倉持です。2011年からリサーチを重ねてきた高須で八畳凧を揚げる一大プロジェクト「大空凧プロジェクト」がついに動き出しました。

今回は、気になる進捗状況をご報告！大凧の材料の制作、会場の下見など着々と準備を行っています。

TAP事務局スタッフ 倉持美芽



はじめまして！ 高須ハウス 新管理人・吉中です！



高須ハウス管理人 吉中媛香

今年の8月より高須へ引っ越して参りました。
吉中媛香と申します。愛媛県の「媛」に
香川県の「香」と書いて、ひめかと読みます。
心も 四国ではなく九州の長崎県生まれです。
青々と生い茂った稲の間を颯爽と駆け
抜けるのが大好きで、すぐに高須という地の
ファンになりました！いろんな表情を見せて
くれる高須の稲、その葉から作られた
大きな凧が空に舞う日が楽しみです！
どうぞよろしくお願い申し上げます。

取手アートプロジェクト、
公式LINE（ライン）始めました！
友達登録いただくと活動紹介やボラン
ティア募集などの情報をお届けします
ぜひご登録ください



お問い合わせ先
発行：高須編集室
住所：〒300-1522 取手市高須2156 高須ハウス
電話：0297-84-1874（火・金13：00～17：00）
メール：tap-info@toride-ap.gr.jp
ホームページ：takasuhouse.com
主催：取手アートプロジェクト実行委員会
助成：文化庁令和3年度文化芸術創造拠点形成事業
財団法人自治総合センター令和3年度地域の芸術環境づくり助成事業

かわら版は高須のみなさんへ
大空凧プロジェクトの状況を発信していきます！
応援のほど、よろしくお願いします！



TAP事務局長
羽原康恵

半農半芸タレント
岩間賢



かわら版
編集責任 恒谷真理



揚げ場所

10月のとある日、大凧を揚げる場所を決めるため、高須地区を視察！
高須地区のどこからでも見られるような場所を求めて、調査をした結果、
電柱のない凧揚げに最適な場所を田園の中に見つけました。



高須のみなさんへご協力をお願い

2022年1月23日（日）に
高須の大地から生まれた大凧と一緒に揚げませんか？

凧揚げ当日、大凧と一緒に引っ張り、支えてくださる方を大募集！

電話（火・金13：00～17：00：0297-84-1874）、
もしくはメール（tap-info@toride-ap.gr.jp）にてご連絡ください。
大凧を大空へ、一緒に揚げましょう！

